

葛飾区水害ハザードマップに関する Q&A

〔ハザードマップ全般に関する質問〕

Q ハザードマップって何？

A 私たちの住んでいる地域の水害リスクや、水害時の避難行動について、正しく理解をしていただくためのものです。

〔ハザードマップ冊子版（解説編）に関する質問〕

Q 地震の時と水害の時では、避難先は違うの？（P4～5）

A 地震の時には、延焼火災から命を守るために、避難場所（大きな公園や河川敷等）に避難をします。水害の時には、避難所を開設しますが、体が不自由な方は、長距離の避難は危険かもしれません。避難所への避難以外にも、自宅がマンションなどで浸水しない上層階であれば、自宅に留まることも1つの避難方法です。

Q 大規模な水害時の避難行動では避難方法はどうすれば良いの？（P5）

A 発生の可能性は低いですが、複数河川の氾濫や、東京湾で高潮が発生すると、区内のほぼ全域が長期間にわたって浸水をするおそれがあるため、区外の浸水しない地域へ広域避難をする必要があります。

Q 広域避難先施設は決まったの？

A 広域避難先施設の第一弾として、令和3年9月に国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）が決まりました。広域避難先施設については、今後もさらなる確保に向けて、国や都等と検討を進めているところですが、必要数は、現在満たしていません。このことから、区民の皆さまも親戚や友人宅・ホテル等の自主避難先を確保することについて、ご検討をお願いします。

Q いざ避難するときの避難はどうすれば良いの？（P5・38～39）

A 区では、河川の氾濫が起きる半日から1日程前には、避難情報を発令しますので、落ち着いて避難行動を取ってください。避難の際に持参する物は、通院している方は常備薬やお薬手帳も持参するようにする等、各家庭の事情に合わせた物を用意しましょう。詳しくは、P38～39に記載のある「非常時持出品チェックリスト」を参考にしてください。

Q 河川の水位はどうすれば確認できるの？（P8）

A 国土交通省のホームページ（川の防災情報）や、NHKのデータ放送で確認できます。

Q 区役所の人は、どこを水位を注視しているの？

A 荒川は、岩淵水門（上）水位観測所（北区志茂） 中川は、吉川水位観測所（埼玉県吉川市） 綾瀬川は、谷古宇水位観測所（埼玉県草加市） 江戸川は、野田水位観測所（千葉県野田市）の各水位観測所の水位を、主に注視しています。

Q 区が避難情報を出したら、どうすれば良いの？（P10）

A 警戒レベル3「高齢者等避難」が発令されたら、高齢者等の避難に時間がかかる方は、避難を開始しましょう。警戒レベル4「避難指示」が発令されたら、その他の方も全員避難を開始しましょう。

Q 区から避難情報は何を確認すれば分かるの？（P11）

A 防災行政無線の放送内容が聞き取れなかった場合には、電話やアプリで確認することができます（電話：0800-800-0657 フリーダイヤル／防災行政無線確認用スマートフォンアプリ「かつラッパ」：音声のほかに文章でも確認することができます。英語・中国語・韓国語の多言語に対応しています）。詳しい避難情報の内容は、区の公式ホームページやフェイスブック、ツイッター、かつしか FM（78.9MHz）等で確認できます。

Q 水害時に避難をしなかったら、どうなるの？（P12）

A 2階以上に避難をしても、河川の氾濫によって浸水をするると、ライフライン（電気・ガス・上下水道等）が使えなくなるおそれがあります。遠距離の避難が難しく、自宅に留まる場合には、水や食料の他、ライフラインの途絶に備えた備蓄もしておきましょう。（LED ライト、卓上コンロ、簡易トイレ等）

Q 地域別の浸水リスクの説明は、西部、南部、東部地域で分けたの？（P13～20）

A 区内を流れる中川や新中川によって、西部・南部・東部の3つの地域に分けました。河川が氾濫をしても、氾濫水が中川・新中川の堤防に阻まれて、対岸側は浸水しない想定もあるため、この3つの地域に分けて、それぞれの地域の浸水リスクについて説明をしています。

Q 内水氾濫の避難方法はどうすれば良いの？（P21）

A 1時間あたり 50 mmを超える大雨が降った場合、下水の処理能力を超えてしまい、マンホールや排水溝から水があふれ出てしまうおそれがあります。1階や地下にいる場合には、2階以上に垂直避難をしましょう。

Q 1,000 年以上に 1 度の大雨と 200 年に 1 度の大雨は、何が違うの？（P22～33）

A 1,000 年以上に 1 度の想定最大規模の大雨によって河川が氾濫をするると、200 年に 1 度の大雨による氾濫では、浸水が想定されていない地域まで、浸水をするおそれがあります。発生する可能性は低いですが、万が一の事態に備えて、想定最大規模の浸水のリスクについ

でも、確認をしておきましょう。

Q マイタイムラインってなに？ (P38～39)

A 河川の氾濫が発生するようなタイミングから遡って、事前にとっておくべき防災行動を、私の防災計画として整理しておくためのものです。家族で話し合っ、避難を開始するタイミングや、避難をする場所等をハザード マップを見ながら考えておきましょう。

Q 水害の際に避難所に避難した場合は、どのくらいの食料を持っていけばいいの？ (P38)

A 1人2食分の食料や水、タオルなどを持参してください。

〔大きなハザードマップに関する質問〕

Q ハザードマップは、どこから見れば良いの？

A まずは大きなマップで、自宅の浸水の深さを確認してみましょう。

Q 自宅の水の深さはどのように確認すれば良いの？

A 白色の場合には、浸水が想定されていません。黄色の場合には、0.5m未満の浸水が想定されています(床下浸水のおそれ)。薄いオレンジ色の場合には、0.5～3m未満の浸水が想定されています(床上浸水のおそれ)。薄いピンク色の場合には、3～5m未満の浸水が想定されています(2階の床まで浸水をするおそれ)。区内での該当する区域は少ないですが、濃いピンク色の場合には、5m以上の浸水が想定されています(2階の空間がほぼ浸水するおそれ)。

Q 荒川、中川、江戸川など川ごとに避難方法が違っているみたいだけど、どのように避難すれば良いの？

A ハザードマップを確認して、浸水をしない安全な地域の避難所等へ避難をしましょう。体が不自由な方は、長距離の避難は危険かもしれません。避難所への避難以外にも、自宅がマンションなどで浸水しない上層階であれば、自宅に留まることも1つの避難方法です。

Q 洪水緊急避難建物一覧の表の見方がわからない、どうしたら良いの？

A 施設ごとに、荒川・中川・江戸川が氾濫をした場合に、浸水をするのか、浸水をした場合でも何階以上であれば、使用ができるのかを示しています。◎となっている場合には、該当河川が氾濫をしても浸水が想定されていません。四角や六角形で、2の数字が囲まれている場合には、該当河川の氾濫によって浸水をして、2階以上であれば使用ができます(3の数字が囲まれている場合には、3階以上であれば使用ができます)。小・中学校の場合、六角形で2や3の数字が囲まれている場合には、体育館のあるフロアの浸水が想定されていません(2や3の数字が四角で囲まれている場合には、体育館のあるフロアが浸水するお

それがあります)。

Q ハザードマップの地図に書かれている矢印はなに？

A 避難をしていただきたい方向を示しています。